

2025年10月 東京地区百貨店売上高概況

2025年11月25日

I. 概況

| | |
|------------------|---|
| 1. 売上高総額 | 1, 358億円余 |
| 2. 前年同月比（増減率） | 3.7%（2か月連続プラス） |
| 3. 店頭・非店頭 の増減 | 店頭5.4%（93.7%）：非店頭-16.4%（6.3%） () 内は店頭・非店頭の構成比 |
| 4. 調査対象百貨店 | 12社 22店（本年9月対比±0店）（前年同月比：±0店） |
| 5. 総店舗面積 | 672,589m ² （前年同月比：0.1%） |
| 6. 総従業員数 | 12,358人（前年同月比：-1.1%） |
| 7. 3か月移動平均値 | 3-5月 -6.5%、4-6月 -8.8%、5-7月 -9.9%、 6-8月 -8.1%、7-9月 -3.7%、8-10月 1.4% |

[参考] 2024年10月の売上高増減率は-1.1%

【特徴】

10月の東京地区は、売上高3.7%増、入店客数2.8%増と共に前年実績を上回った。下旬以降の気温低下に伴い、秋冬物衣料品が好調に推移した他、宝飾、時計等の高額品が伸長した。国内売上も活況を呈し、4.5%増と前月より0.6ポイント伸び幅を広げた。具体的なアイテムの動向は以下の通り。

衣料品(3.1%増)：主力の衣料品は、気温低下に伴い、紳士服・婦人服共にニット、コート、ジャケット、ブルゾン等の冬物衣料品が好調に推移した他、マフラー等首回りの防寒アイテムも稼働。婦人服や子供服では七五三やお受験等のオケージョン需要も見られた。リカバリーウェアは好調継続。

身のまわり品(0.5%増)：国慶節休暇（10/1～10/8）や円安基調の中、インバウンド需要が復調の兆しを見せ、ラグジュアリーブランドのハンドバッグ等が伸長し、9か月ぶりにプラス転換。行楽需要からカジュアルシューズや軽量バッグ等も好調。

雑貨(11.0%増)：化粧品は一部ブランドで価格改定前の駆込みが見られた他、スキンケア商品やホリデー限定商品等、国内外共に好調に推移したが、改装工事影響等もあり、0.6%減と僅かに前年に届かなかった。美術・宝飾・貴金属は高額品好調で2か月連続二桁増。

食料品(3.6%増)：生鮮食品は品目によるばらつきが見られるものの全体としてはマイナス基調が継続。菓子はギフト需要に加えて、新店オープン等の改装効果もあり8.3%増と高伸。ECを中心にスタートしたおせちやクリスマスケーキの予約は、原材料費高騰等により商品単価は上昇傾向も、各社の多彩な商品展開や販促策により順調な滑り出し。

11月足元動向：前年比1.6%増(11/18時点)で推移。

【要因】

- (1) 営業日数増減 31.0日（前年同月比 ±0.0日）
- (2) 入店客数増減（回答店舗数で見る傾向値／前年同月比／有効回答数17店舗）
①増加した：9店、②変化なし：3店、③減少した：5店
- (3) 10月歳時記（秋物商戦、秋の行楽）の売上（同上／有効回答数12店舗）
①増加した：4店、②変化なし：8店、③減少した：0店

東京地区百貨店 売上高速報 2025年10月

| | 売上高(千円) | 構成比(%) | 対前年増減(-)率(%) |
|---------------|--------------------|--------------|--------------|
| 総額 | 135,803,131 | 100.0 | 3.7 |
| 紳士服・洋品 | 10,825,824 | 8.0 | 1.6 |
| 婦人服・洋品 | 24,582,126 | 18.1 | 4.3 |
| 子供服・洋品 | 2,028,972 | 1.5 | 0.8 |
| その他衣料品 | 1,405,900 | 1.0 | -1.4 |
| 衣料品 | 38,842,822 | 28.6 | 3.1 |
| 身のまわり品 | 24,935,889 | 18.4 | 0.5 |
| 化粧品 | 12,264,867 | 9.0 | -0.6 |
| 美術・宝飾・貴金属 | 17,415,775 | 12.8 | 21.2 |
| その他雑貨 | 4,289,802 | 3.2 | 9.9 |
| 雑貨 | 33,970,444 | 25.0 | 11.0 |
| 家具 | 1,234,786 | 0.9 | -4.1 |
| 家電 | 926,868 | 0.7 | 0.1 |
| その他家庭用品 | 2,960,037 | 2.2 | 6.0 |
| 家庭用品 | 5,121,691 | 3.8 | 2.3 |
| 生鮮食品 | 3,098,799 | 2.3 | -3.8 |
| 菓子 | 8,280,298 | 6.1 | 8.3 |
| 惣菜 | 7,431,310 | 5.5 | 6.4 |
| その他食料品 | 8,082,306 | 6.0 | -0.3 |
| 食料品 | 26,892,713 | 19.8 | 3.6 |
| 食堂喫茶 | 2,155,091 | 1.6 | 4.8 |
| サービス | 1,611,041 | 1.2 | -24.4 |
| その他 | 2,273,440 | 1.7 | -14.4 |

注) 構成比は計算処理上必ずしも100%にはなりません。

本統計には消費税は含まれておりません。

対前年増減(-)率(%)

| | | |
|------|------------------------|--------------|
| 商品券 | 1,137,679 千円 | -2.5 |
| 従業員数 | 12,358 人 | -1.1 |
| 店舗面積 | 672,589 m ² | 0.1 |
| 営業日数 | 31.0 日 | 前年 31.0 日 |

II. 商品別の動き

主要5品目は全てプラスとなった。
 その他の品目は、紳士服・洋品、婦人服・洋品が2か月連続でプラスとなったほか、美術・宝飾・貴金属、菓子、惣菜が3か月連続でプラスとなった。一方、化粧品が3か月ぶり、生鮮食品が19か月連続でマイナスとなった。

【商品別売上前年比の寄与度とトレンド】

| 商品別 | 売上前年比 (増減率) | 寄与度 | トレンド |
|---------------|----------------|-------------|-------------------|
| 総額 | 3.7 | — | 2か月連続プラス |
| 紳士服・洋品 | 1.6 | 0.1 | 2か月連続プラス |
| 婦人服・洋品 | 4.3 | 0.8 | 2か月連続プラス |
| 子供服・洋品 | 0.8 | 0.0 | 2か月ぶりプラス |
| その他衣料品 | -1.4 | -0.0 | 11か月連続マイナス |
| 衣料品 | 3.1 | 0.9 | 2か月連続プラス |
| 身のまわり品 | 0.5 | 0.1 | 9か月ぶりプラス |
| 化粧品 | -0.6 | -0.1 | 3か月ぶりマイナス* |
| 美術・宝飾・貴金属 | 21.2 | 2.3 | 3か月連続プラス* |
| その他雑貨 | 9.9 | 0.3 | 2か月連続プラス* |
| 雑貨 | 11.0 | 2.6 | 2か月連続プラス |
| 家具 | -4.1 | -0.0 | 7か月連続マイナス |
| 家電 | 0.1 | 0.0 | 11か月連続プラス |
| その他家庭用品 | 6.0 | 0.1 | 3か月連続プラス |
| 家庭用品 | 2.3 | 0.1 | 3か月連続プラス |
| 生鮮食品 | -3.8 | -0.1 | 19か月連続マイナス* |
| 菓子 | 8.3 | 0.5 | 3か月連続プラス* |
| 惣菜 | 6.4 | 0.3 | 3か月連続プラス* |
| その他食料品 | -0.3 | -0.0 | 2か月連続マイナス* |
| 食料品 | 3.6 | 0.7 | 3か月連続プラス |
| 食堂喫茶 | 4.8 | 0.1 | 16か月ぶりプラス |
| サービス | -24.4 | -0.4 | 2か月連続マイナス |
| その他 | -14.4 | -0.3 | 4か月連続マイナス |
| 商品券 | -2.5 | -0.0 | 20か月連続マイナス |

(注) 化粧品、美術・宝飾・貴金属、その他雑貨、生鮮食品、菓子、惣菜、その他食料品について、2006年1月から細分化した

お問い合わせは、日本百貨店協会 橘・青柳まで
 TEL 03-3272-1666 ホームページアドレス <http://www.depart.or.jp>